

平成19年度予算の審議が始まりました

川崎市議会議員 ほりぞえ健

(事務局)

2月14日から始まった定例会で、平成19年度予算の審議が行われますね。

(堀添)

平成19年度予算は、「行財政改革」「新総合計画」「自治基本条例」の3本柱の取り組みにより、「様々な地域で魅力と価値と活力の好循環が生まれる」という意味を込めて、「かわさきグッドサイクル予算」と名づけられています。

(事務局)

一般会計予算では、前年度に引き続き2年度連続の増となっています。この予算案の特徴はどんな点でしょうか。

(堀添)

歳入面では、市税全体で203億円、7.8%の増となっています。これは個人課税所得の増加や、企業収益の増加による実質的な増もありますが、いわゆる三位一体改革による地方贈与税の減や定率減税の補填措置であった地方特例交付金の廃止に対しての「振り替え」的なものが大半を占めています。

(事務局)

地方分権改革で、財源が移譲されてきているのではないですか。

(堀添)

今回、住民税が一律10%化されることで、この部分だけを見る



- 1963(昭和38)年2月6日、高津区に生まれ、高津小学校出身。桐朋中学、高校を経て東京工業大学を卒業。
- 東京都三鷹市で9年間、地域情報化やプライバシー保護等に従事。
- セブーンイレブン本部での情報システム構築をはじめ、ITを活用したシステムづくりに従事。
- 2003年4月、川崎市議会議員に初当選。
- 民主党神奈川18区総支部幹事長代行
- 経済産業省 システム監査技術者
- 妻と長女(高校1年)の3人家族



と増えているように見えます。しかし、全体で考えると、増えた分以上に国からの交付金等が削減されていますので、実際にはマイナスの影響となっています。「地方分権」といいつつ、地方が裁量権を持ち、きちんと責任を負える部分が小さくなっています。行革の観点からも、住民自治の観点からも、こうした状況は変えなければなりません。

(事務局)

ありがとうございました。

(2007年2月21日)

会計名	平成19年度予算案	平成18年度予算	前年比
一般会計	5,523億9,355万円	5,456億 353万円	1.2%
特別会計	5,218億 18万円	5,457億5,147万円	△4.4%
企業会計	2,045億5,859万円	1,915億4,584万円	6.8%
合計	1兆2,787億5,233万円	1兆2,829億 85万円	△0.3%

平成19年度予算(案)の高津区内重点施策

【協業推進事業：高津区】

高津区安全・安心まちづくり支援事業	3,009千円
区民が組織する防犯パトロール隊にパトロール用品を貸与し、地域の防犯活動を支援する。今年度は新たに防犯パトロール隊がお互いの活動内容の情報を共有するため、活動事例集を作成する。	
協働事業提案事業	5,873千円
高津区が抱える地域の課題を区民と協働で解決するため、昨年度、市民活動団体等から提案のあった15事業の中から選定された事業について、区民と区役所との協業により実施する。また、次年度の継続実施に向けて、事業の募集・選定を行う。	
高津区協働推進事業外部専門評価実施事業	1,757千円
高津区協働推進事業のうち一定の事業規模があり、かつ課題の多い事業について、2事業程度を対象に外部機関による事業評価・改善提案を受ける。	
高津区まちづくり推進事業	5,943千円
区民の参加と協働によるまちづくりを推進するため、「人材育成」「場の提供」「情報の提供」「交流・連携の促進」をテーマに、区民、市民活動団体、行政の間に立って相互の橋渡しを行う中間支援的な活動を行う。	
高津区こども総合支援事業	6,142千円
区内の子ども・子育て支援を充実するため、子ども・子育てネットワーク会議の運営、ホームページの更新等を行うとともに、新規事業として、区における子ども関連の実態調査と、そのデータ分析を踏まえた「高津区こども総合支援基本方針」の作成を行う。	

【課題解決に向けた取り組み：高津区】

放置自転車等対策事業	7,790千円
溝口駅南口の駅前広場やペDESTリアンデッキの整備の進捗に伴い、暫定利用の自転車等駐車が減少するため、駐車台数を確保するための代替施設の整備を行う。	
溝口駅南口周辺地区の総合的整備	6,500千円
溝口駅南口周辺地区の総合的整備の一環として、野川柿生線沿道の街路樹、花壇等を再整備し、緑の景観づくりを推進する。	
ニヶ領用水久地円筒分水周辺の環境整備及び保存	31,000千円
区のシンボルであり国の登録有形文化財でもある円筒分水の補修を行うとともに、区民参加による環境整備基本計画に基づき、区民や観光客が産業遺産にふれあう憩いの場として周辺の環境整備を図るための基本設計を行う。	

【投資的事業：高津区】

民間保育園の整備（溝口一丁目内 定員120名）	181百万円
遊歩道（たちばなの散歩道）の整備	2百万円
既設公園緑地の再整備	2百万円
久末後谷公園の整備	15百万円
橋公園の用地取得	307百万円
緑ヶ丘霊園の用地取得及び整備	254百万円
多摩川緑地の再整備	7百万円
多摩川河川敷（二子橋周辺地区）の整備	17百万円
主要地方道鶴見溝口線の歩道設置	22百万円
道路照明灯の整備	11百万円
道路標識、防護柵、道路反射鏡、点字ブロックの設置等	15百万円
溝口駅周辺あんしん歩行エリア整備	12百万円
溝口駅周辺交通バリアフリー重点整備地区交通安全施設整備事業	7百万円
市道・国県道改良	67百万円
自転車等駐車場保管所整備（武蔵溝ノ口駅南口駅前）	8百万円
溝口駅南口広場整備、都市計画道路野川柿生線ほか1路線の街路整備	1,172百万円
駅舎エレベーター設置補助（高津駅2基、溝の口駅2基）	67百万円
市営新作住宅エレベーター設置（1棟4基）	83百万円
高規格救急自動車（高津消防署）1台	29百万円
消防車両の整備（指揮車・ポンプ積載車各1台：高津消防署、ポンプ自動車1台：梶ヶ谷）	25百万円
消防団車両の整備（小型動力ポンプ付積載車1台：高津消防団二子班）	5百万円
橋中学校改築に伴う外溝工事	215百万円
久地小学校体育館の改築	153百万円
子母口小学校の校舎の借上げ	21百万円
橋樹郡衙推定地緑地の整備	7百万円
管きよの整備	525百万円
下水道施設の改良	18百万円
上水道配水施設改築等	47百万円
	3,296百万円

「川崎マニフェスト2007」重点10施策

交番のない駅にも、市民交番（市民よろず相談所）を設置します。

交番の新規設置や警察官の常駐など、安全に対する要望が多く寄せられています。横浜市では、警察官OBや警備員などが常駐する「民間交番」を整備し、防犯ボランティア団体の活動拠点となっています。川崎方式「市民交番」として、防犯のみならず、相談機能も併設した、安全、快適なまちの拠点を設置します。

コミュニティ交通を積極的に導入整備します。

市内に56ヶ所ある交通不便地域の解消は急務です。費用負担のあり方と採算性の基準を明確にすることにより、地域の実情に密着したコミュニティ交通を充実させ、市民の移動の確保と地域の活性化を図ります。

介護予防と安心の在宅介護サービスを充実します。

介護予防、虐待防止などの権利擁護、総合相談など地域で暮らす高齢者を文字通り包括的に支える拠点、地域包括支援センターを実態に合わせて設置数を増やします。待機者の多い特別養護老人ホームの増設とともに、地域密着型介護サービスを確立し、住み慣れた地域で暮らし続けられる、安心の介護体制を構築します。

保育園待機児童ゼロを実現します。

子育てをしても安心して働けるまちをつくるために、新增設による認可保育園の定員増や定員の弾力的な受け入れをはかるなど、待機児童ゼロを実現します。もちろん、産むことへの不安も出産費補助を創設するなどで解消していきます。

現在ある4処理センター（ごみ焼却場）を3処理センターにします。

3Rの取り組みを強化し、市民1人あたり1日ごみ180グラムを減量することで、焼却量を13万トン削減します。これにより、現在4ヶ所ある焼却場が3ヶ所で処理可能となります。新たな建設費240～300億円が削減される他、年間維持費約11億円が節約されます。

緑地保全地区を1.5倍に広げます。

貴重な緑を次世代に継承します。生田緑地を川崎市最大の緑のオアシスとして拠点的な整備を進めます。また、多摩丘陵から三浦半島の先端までの12市1町にまたがる緑を自治体の広域連携で保全します。

ドラえもん、いつでも会えるね。

子供から大人まで人気のある藤子・F・不二雄氏の作品を保存・活用するための施設、アートワークス構想を実現します。その他にも、川崎にゆかりのある文化資源を大切にしながら、歴史的ロマンのあるまち「かわさき」を個性化していきます。

かわさきの原点・多摩川の魅力を輝かせます。

多摩川の整備と自然環境の保全をすすめ、川崎市の原点である多摩川の魅力を輝かせます。気軽にアクセスできるようにするとともに、利用ルールを明確にし、子どもたちが遊べる多摩川をつくります。

住民投票による市民合意により、市営地下鉄に取り組みます。

多額の整備費（1期分4246億円）を要する市営地下鉄建設。市民合意に基づいた市営地下鉄整備を進めるために、住民投票制度を活用します。

議員定数を各区1名削減します。

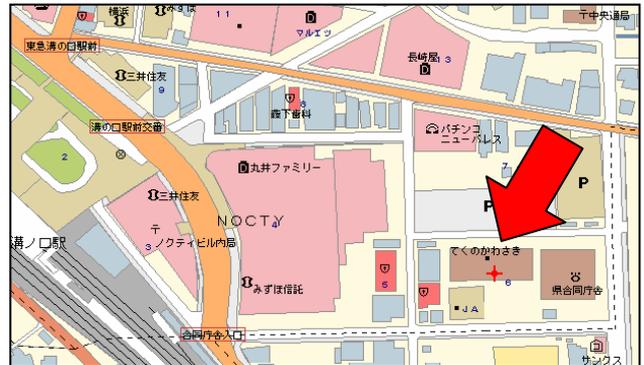
行財政改革プランで行ってきた職員削減率と同程度に議員定数を削減し、法定上限定数72人（現行63人）から56人に引き下げます。得られた財源の一部を、議会事務局の強化など、市政に市民意思を反映するための体制強化に充てます。

「事務所開き」のご案内

「高津区より市政刷新！」を掲げ、活動してまいりましたが、このたび、下記の通り「事務所開き」を開催いたします。ご多忙のところ恐縮ですが、ご参加くださいますよう、お願い申し上げます。

日時：3月11日（日）
 午後5時45分 開場
 午後6時 開会
 場所：てくのかわさき てくのホール
 （右地図をご参照ください）
 来賓：松沢しげふみ神奈川県知事、
 阿部たかお川崎市長、
 ひだか剛前衆議院議員、他。
 会費：無料

日時：2007年3月11日（日）
 午後6時から。
 場所：てくのかわさき
 溝の口駅徒歩5分
 溝口1-6-10 044-812-1090



このニュースはご自宅にも無料で配送しております。毎月確実にご覧になりたい方は、ほりぞえ健事務所までご連絡ください。（電話：855-1479）

連載コラム 川崎と高津の地名 (No.20) 参考：上田恒三著「高津村風土記稿」 日本地名研究所編「川崎の町名」

「宇奈根」の由来

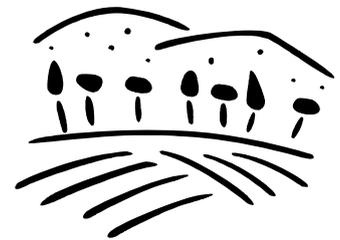
多摩川の対岸にある世田谷区宇奈根地区とは、かつては地続きでしたが、多摩川のたび重なる流路変遷により、分かれたものと思われます。「風土記稿」が編纂された江戸時代末期には、すでに世田谷区側の宇奈根村の飛地となっていました。

明治22年の市制町村制で、宇奈根村は東京府北多摩郡砧村大字宇奈根の飛地となりましたが、明治45年に飛地部分が神奈川県に編入され、高津村大字宇奈根となりました。

宇奈根の地名は、古代、稲作用の溝梁をウナ二とい

ったことから付いたものといわれています。また、別説として、「ウナ」とは畝が転訛したもので、多摩川沿岸の自然堤防状の低く長く伸びた畝のような地形にちなむ、というものもあります。

いずれにしても、「小田原衆所領役帳」にも宇奈根村の名前が見られるように、この地は古くから拓け、歴史のある地であるといえます。



政治資金ご寄附のお願い

地元から日本改革を実現するために、ご支援賜りますよう、お願い申し上げます。

「ほりぞえ健後援会」宛

郵便振替：高津郵便局 口座00270-1-24169
 銀行振替：川崎信用金庫 高津支店 普通0796294

今月末からは、統一地方選挙を控えて、公職選挙法の改正により、知事や市長などの首長選挙におけるマニフェスト配布が可能となった。四年前の統一地方選挙で始まったマニフェスト型選挙の流れが、さらに加速され、新しい段階へと進むことだろう。▼今回、川崎市の民主党として「川崎マニフェスト2007」を発表した。議員選挙を想定した包括的なマニフェストとしては、全国の政令市でも初めてのものだ。今までの政策立案活動の積み重ねが、形となって結実したといえる。▼選挙で勝つためのツールではない。選挙を通じて、有権者の意思を政治に反映するためのツールである。言い換えば、今までのような「白紙委任先の選択の場」から「政策選択の場」へと選挙自体を変えるためのツールである。▼昨年の「地方主権を語る集い」において、松沢知事は「選挙が終わった段階で、すでに行政職員がマニフェストを詳細に検討しており、実現するための案も作っていた」といった内容の発言をされていた。政策の実行を担う行政の側も、マニフェストの持つ重みをも十分に理解しているのだろう。▼これまで、マニフェストは掲げることととも、実現に向けた進捗管理と、検証作業が重要となる。言い放して、選挙が終われば見向きもされない、というだけでは、まったく意味がない。▼「川崎マニフェスト2007」では、重点施策をはじめ、トータルで二項目に上る政策が掲げられていく。このマニフェストを有権者がどう受け止めるのか、投票行動にどのように反映するのかが、説明責任を果たしていくことが求められるだろう。（事務局ゆ）